



部品の適正価格推奨チームは 根っからのドイツ車党だった

DIY派にはすっかりお馴染みのスピードジャパン。その本社では、いったいどんな人達が働いているのか?

スピードジャパンの素顔に迫ってみました。



ナンバーの付いていないW124型300D。実はスピードジャパンの社用車であり、部品の確認や、スタッフが自らの手で整備を行なう「研修」にも使用されている。



佐川急便物流センター内に位置するスピードジャパンの本社。ひっきりなしにかかる電話とメールの対応に追われているが、社内は明るい雰囲気であった。

パーツの流通革命見達は、
自らも整備を行なうローラー派
ドイツ車を維持して行く中で、
長きに渡り問題となっていたのが、
部品代が高価なことだった。輸入
中古車というマーケットが確立され
てからも、この高価な部品代ゆえに、輸入車を敬遠する人はたくさんいたはずだし、これに悩まされたオーナーも多かったはずだ。
しかし、ネットの発達と流通改革などにより、純正パーツを大きく下回る価格で部品を購入できるようになつた。

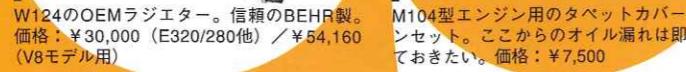
1999年、スピードジャパンという企業が、輸入車好きの人達の出資により設立されたのだ。この年をボクは勝手に輸入車革命元年!と命名している。これにより、エンジンユーザーの負担が軽減されたことはもちろん、安く買った部品をその他の整備費用で通勤している元メカニックからデスで送っている元メディア関係者まで、多彩な顔ぶれの彼らはみな心底クルマ好きであり、その多くが中古のメルセデスで通勤しているのだ。SJIは一時的な利益追求の企業ではなかった。この流通革命見達は、時間を見付けて社用車のメンテナンスを行なう。実際にバラし組み付け、輸入車に乗りドライブに乗り、ユーザーが求められるうバーツの探求や部品知識の蓄積を行なう人達であった。



リアフェンダー用ショートアンテナ
(W124他)



ラジエター
(W124用)



タベットカバーパッキン
(M104型エンジン用)



W124用ウォッシャータンク
(凍結防止機能付き)



ヘッドライトスイッチ
(W124用)



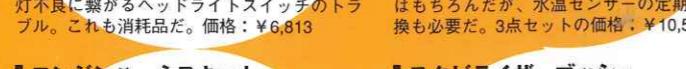
水温センサー
(M104型エンジン用)



プラグコード
(M103&104型エンジン用)



エンジンハーネスキット
(W124 500E/E500)



スタビライザーブッシュ
(W124 E500用)



W124用ラジエターリザーバタンク
(キャップ&センサー別)



V8エンジンのお約束メンテボリュームもある
エンジンハーネスとPOSケーブル。
価格: ¥64,680/¥25,032 (POSケーブル)



ロールの抑制効果大!
サイド×2センターハード×2のフロントスタビブッシュ1台分。
価格: ¥3,864



黄ばんだリザーバタンクは冷却水の確認もし
にくく。真っ白な新品へDIYで交換しよう。
価格: ¥5,663



足回りは、R129のSL用ダンパー & W210用スプリングを換装。ストラットアッパーには、W124の4マチック用が入っている。アルミはW210の純正オプションもの。

シングルカムエンジンは、バルブタイミングも合わせやすいので、DIY初心者向きのエンジンだ。



本村丈青さんは約1ヶ月を費やし、260Eのエンジンヘッドを自分でオーバーホールした。ヘッドカンバーとは一緒に風呂にも入った仲間だ。



サーモスタッフとエンジンプロテクターを繋ぐ、バイパスピース＆ホースも新品に交換。バイパスピース側も古くなると水漏れを起こす。



エンジンマウントブラケットは、パイプの腐食による冷却水漏れの定番箇所。この交換と同時に、ヒーターホースも交換している。



取材日の前日、自らの手で装着したというHIDコンバージョンキット。ハイ＆ロー＆フォグまで含まれたキットだ。価格は8万円。



次ぎにやりたいことは、擦れて破れてしまった運転席のシート表皮の交換。内部のヤシの実繊維やシート表皮も、SJで購入可能。

れを見ながら湯に浸かる。ゴールデンウィークの間もずっと、本村家の風呂場にはエンジンヘッドがあつたそうだ。

全くの素人が通常業務後に一日2時間づつ、コツコツと作業は進められた。どうしても必要な工具や分からぬところはプロのメンツに頼るが、手伝ってはくれない。作業はあくまで一人。1日の作業でボルト1本しか外せない状況から、やがてバルブを抜き、シールを交換することができるようになる。タイミングチェーンガイドのピンを折つてしまつたことと、ラジエターを外さないでヘッド回りのパーツの脱着を行つたことで時間を大きくロス。しかし、その後はガスケットやシール類を交換し、水温センサーや点火系統も新品を装着して6月の上旬に全ての作業が終わる。会社が負担した部品代は約6万円。作業の全てを屋上の駐車場でやり遂げた。短いクランクインの後、すぐにエンジンは始動し、本村さんは大きな達成感と満足感に包まれたと言う。「研修ですが、途中から夢中でしたね」(笑)。エンジンが始まるとまずは不安でしたが、その後は歓びでいっぱいでした。今は回転レスポンスも良くなり、燃費もパワーも向上しています。パーソナルにもメンテナンスにも、自信が付きました。次は、ATの研修ですかね(笑)。名車W124は、部品商社の研修にも役立つクルマであった!



SPEED JAPAN
スタッフ
本村 丈青さん

**1990年式
メルセデス・ベンツ
260E**

屋上でエンジンヘッドを オーバーホールした男

暗闇の屋上でエンジンをバラシ、自宅の風呂場でヘッドカバーを洗う。D.I.Yメンテの初心者が約1ヶ月を費やし、エンジンヘッドのオーバーホールを行なった!?

それは
D.I.Y派の味方だ!!

SPEED JAPAN
潜入
レポート

約6万円でできてしまった
ヘッドのオーバーホール!

スピードジャパンのスタッフである本村丈青さん。この5月に、愛車のW124型260Eのエンジンヘッドを、約1ヶ月を費してオーバーホールした人物だ。と言つても、それまでにエンジンを開けたことなど全くななく、D.I.Yメンテの経験すらあまりなかつたという。では、なぜそんな彼がエンジンヘッドを開けたのか。走行距離が10万キロに差し掛かった頃に、1番と6番シリコンターピー近かのオイル漏れやエンジンブロッケとサーキュレーションパイプの劣化など、各部に整備の必要に迫られる時期がきたのだ。となると、部品は当然自身が務めるスピードジャパンで購入し、作業は提携工場に頼むというのが一般的。しかし、「部品代は会社が持つ。作業は自分でやれ」という業務命令が本村さんになつた。実は、これがスピードジャパン流の研修なのだ。

この研修というか作業は、普段の日常業務を終了した後、夜の8時頃から毎晩1~2時間づつ行なわれた。場所は、社員の駐車場として使用している本社の屋上にある駐車場だ。かろうじて雨は防げるが、明かりはない。だから懐中電灯を片手に、本村さんはヘッドカバーを外す、カムを外す、タイミングチェーンを外す。ヘッドカバーは自宅に持ち帰り、灯油に浸して風呂場に置いておく。そ

それでもやっぱりD.I.Yは不安

タンク側面部のモーター用コネクターを抜く



02

ウォッシャータンクの側面にある、ポンプ用のコネクターを外す。ポンプに異常がなければ再使用となる。ポンプのSJ価格は3,045円。

タンクの上部に備わるレベルセンサーを抜く



01

ウォッシャータンクの上部に備わる、レベルセンサーを抜く。劣化するとロックが割れやすいので注意。センサーは別売りだ。

ブロッカラ
シヤ教わ
ータンクの
交換方法

SJ協力工場なら学びながらメンテができる!!

いつもの本社屋上ではなく、SJの協力工場兼レンタルガレージで、本村さんがウォッシャータンク交換を行なった。

ヘッドライトウォッシャー付きはポンプが2つ



06

ヘッドライトウォッシャーが付かないタイプは、ポンプが一つなので、もう片側はグロメットで塞がれている。(SJ価格71円)

タンクキャップシールもカチカチに硬化している



05

タンクキャップの裏側に備わるシールは、経年劣化でカチカチに硬化する。保温性と蒸発を防ぐため、新品に交換 (SJ価格245円)

冷却水が循環する接続ホースを外す



04

凍結防止用の冷却水が循環するホースは、事前にホースを挟んで漏れるのを防ぎ、溢れないように写真のように差し込んでおく。

工具は必要ナシ樹脂ボルトを手で緩める



03

ウォッシャータンク後方の樹脂ボルトを手で緩める。タンク下側の差し込み部の2箇所で固定されている。

カバーもキャップも新品に交換すれば見栄えもUP



10

タンクカバーとキャップも新品に交換しないと、この部分だけの劣化が目立ってしまう。タンクキャップのSJ価格は245円。

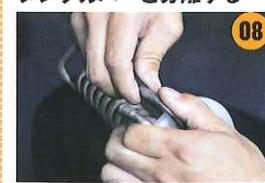
グロメットの脱着には少量の潤滑剤を



09

ヒーターユニットを貫通しているグロメットは、意外と脱着がしにくい。その場合は、少量の潤滑剤を吹き付けると良い。

グロメットを外しタンクカバーと分離する



08

タンクカバーを新品に交換する場合は、ヒーターユニットを繋いでいるグロメットを外す。タンクカバーは285円だ。

ウォッシャーヒーターユニットを取り出す



07

ウォッシャータンクカバーを緩めて、ヒーターユニットを取り出す。出したついでに、パイプをキレイに掃除しておこう。

エアーフォルクは、レンタルガレージとして使える。代表の松元和弘さんと一緒に指導してくれる。



黄ばんだタンクよサヨウナラ!!



13

ウォッシャータンクの交換費用は、タンク自体が4,529円。その他のショートバーツが1,500円程度。1時間程度で交換可能だ。

ホイールハウスに備わるグロメットの再使用は不可



12

ウォッシャータンクの固定用のグロメットは(ホイールハウスに備わる)劣化しやすいため再使用は難しいバーツ。SJ価格は242円。

壊れていなければレベルセンサーは洗浄して再利用



11

レベルセンサーが壊れることは希。バーツクリーナーなどでキレイに洗浄すれば、再利用が可能なことが多い。

エス ファクトリー



言わずと知れたスピードジャパンの提携工場。完全予約制で部品の持ち込みももちろんOK。
東京都江戸川区篠崎町7-11-5
TEL.03-5636-5122

エアーフォルク



スピードジャパンの提携工場であると同時に、DIY派向けにレンタルガレージを開設している。
愛知県北名古屋市中之郷四辻24-1
TEL.0568-22-7785

SJの本社近くにレンタルガレージがオープン
D.I.Y派にとって、広く設備の整ったガレージで作業をすることは憧れではないだろうか。雨の心配や工具の心配をせずとも、D.I.Y整備が可能。そんなユーチャーの気持ちを悟ってか、スピードジャパンの提携工場であるエアーフォルクでは、レンタルガレージを開始。分からぬ整備に関してなど教えてくれるはず。始まつたばかりのサービスで、価格などはまだ未定。気になる人は、電話で確認してもらいたい。